

多言語多文化選抜 推薦書（高等学校長用）記入要領

1 出願要件を確認し、□にレ点でチェックをしてください。

日常会話ができるとは

例 1) 自宅での会話において日本語以外の母語を使用することがある

例 2) 日本語以外の母語を使用する知人・友人との会話は、母語で行っている、または行うことができる

2 被推薦者の日常会話における言語の使用状況

事前の面談を通じ、出願要件である日本語以外の母語で日常会話ができることを確認した状況について、使用頻度や使用場面など聴取した内容を記入してください。

例) 学校では日本語を使用するが、家族との会話には母語を使用している。

また家族は日本語が話せないため、一緒に出掛ける際には通訳の役割を担っている。

3 被推薦者の多文化についての理解度

事前の面談を通じて、国外の文化や生活習慣についての理解度を確認した内容を記入してください。

例) ○○国出身の家族と暮らす中で、日ごろから○○国の生活習慣に親しんでいる。